

## 奈良県立高取国際高等学校 第三十七回入学式

### 式 辞

新型コロナウイルスの感染が各地で急拡大している春。規模を縮小し、感染予防を徹底したうえで、ここに奈良県立高取国際高等学校 第三十七回入学式を挙行することができました。

本校育友会役員の皆様並びに保護者の皆様におかれましては、ご多忙にもかかわらず、本校からのお願いをご快諾いただきご臨席を賜りました。誠に有り難うございます。厚く御礼申し上げます。

さて、ただいま、入学を許可しました二一六名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは中学校の三年間で学習、部活動、学校行事に一生懸命取り組んだことで、今回の入学試験を見事に突破し、本日、夢と希望を持って本校の門をくぐられました。皆さんが志した、ここ奈良県立高取国際高等学校は、昭和五十九年に開校した高取高等学校に始まり、平成二十五年から国際英語科・国際コミュニケーション科・普通科を併置し、これまでに八〇四名の卒業生を輩出しています。

本校は地域の豊富な文化遺産に学び、多様な国際交流や外国語学習を積極的に進めており、各科それぞれに特色を持たせ、一人一人の特性を生かした多様な進路希望の実現や、幅広い知性や実践的な英語力の養成に努めています。

また、地域行事への参加や福祉施設訪問など、地域との交流活動も積極的に行い、本校の教育目標である磨かれた知性と豊かな国際感覚を身につけ、実社会を生き抜く強い心と、人を思うあたたかい心をあわせ持つ生徒の育成を目指しています。新入生の皆さんには、このような本校の特色を大いに活用し、自分自身を高めていってください。

ここで、皆さんの高取国際での高校生活が、より意義深いものになることを願い、二つの話をします。

一つ目は、本校の校訓にある「さとくきよくゆたかにたくましく」をこれからの指針としてもらいたいということです。「さとく」は理性を磨くこと、感覚を研ぎ澄ますこと、「きよく」は何事にも清い心で誠実に対応すること、「ゆたかに」は知識や感性の豊かさを、「たくましく」は、心身ともに鍛錬して、忍耐力を持って力強く歩む姿勢を示していると思います。この校訓を胸に日々、努力することで、皆さんがよりよく成長していくことを願っています。

二つ目は、高取国際高校にある「学びの環境」をおおいに活かしてほしいということです。

高取国際高校には留学生や外国にルーツを持つ生徒をはじめ様々な個性を持った人が学んでいます。昨年のラグビーワールドカップで、多様なルーツを持つメンバーからなる日本代表が日本中を熱狂させたことは、まだ記憶に新しいところです。

人は人と関わる中で自分自身のことばかり自分を生かす道が見えてきます。同時に責任感や協調性、人を思いやる心も養われてきます。多くの人と関わり、人から刺激を受け、学ぶことは自分を成長させる上で必要不可欠なことです。高校時代に、隣の席の人、部活で一つの目標に向かって共に切磋琢磨する人、留学生や外国にルーツを持つ人、諸外国の友人、多くの人たちと交流を深めてください。高取国際は世界と繋がっています。自分の興味関心のある分野で自分のちからを高めていってください。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございませう。改めてお祝い申し上げます。

お子様は本日より憧れの高取国際高校の一員となられたわけですが、今後の高校生活において、今まで経験したことのない困難な問題にぶつかり悩むこともあるでしょう。そんな我が子の姿を見て、保護者の皆様が心配されることもあると思います。そのときは、どうぞ学校にご相談ください。お子様のよりよい成長を願い、一緒に力を合わせ取り組んでまいりたいと考えております。「高取国際へ入学してよかった」と言っていただけますよう、教職員一同、全力を尽くす決意しておりますので、どうぞご協力いただきますようお願い申し上げます。

ここ飛鳥の地で生まれた元号「大化」から数えて二四八番目の新たな時代「令和」。この新たな時代に、二一六名の新入生の皆さんの「夢の実現」を願って式辞といたします。

令和二年四月九日

奈良県立高取国際高等学校長

永井 工仁